

イースター礼拝のお知らせ

4/17 (日)

【第一礼拝】9:30～10:30am

【第二礼拝】11:00～12:00am

復活されたイエス・キリストを記念して礼拝をささげます。どなたでもお越しください。聖歌隊の賛美があります。第一礼拝・第二礼拝は同じ内容になります。(感染防止に注意して行います。)



教会からのオススメの一冊

「聖書を読んだ30人 夏目漱石から山本五十六まで」
鈴木範久・著 (日本聖書協会 発行)

聖書の言葉は、神様のメッセージです。聖書の言葉には力があり、人の心に働きかけます。神様が聖書の言葉を通して、それを読む人、聞く人に導きを与えられるからです。聖書の言葉に触れて、これまで多くの人々が魅了され、感化され、影響されてきました。誰もが知る歴史の偉人の中にも、聖書の言葉に触れていた人が多くいます。

この本には、そのような人々の中から30人が紹介されています。副題「夏目漱石から山本五十六まで」が示す通り、中には“え?この人もそうだったの?”と意外に思える人もいます。一方で、日本人初の救世軍士官・山室軍平や、聖隷福祉事業団の生みの親・長谷川保などは、クリスチャンとして広



く知られています。作家の太宰治や芥川龍之介は、クリスチャンになることはなかったものの、聖書に魅せられ、終生聖書を読み続けたことが解説されています。その他、人によって、聖書との出会い方、関わり

方、そして、影響の受け方があり、大変興味深い内容です。

こうして、聖書が多くのの人々に読まれ、親しまれてきたことに感動を覚えます。しかし、それだけに、聖書を読んでいながらも、信仰を持つに至らなかった人が少なからずいたことが、残念でなりません。

聖書を読めば、神様のことやイエス・キリストのことがわかるのですか?その通りです。聖書にははっきりと書かれています。では、聖書を読むだけでよいのですか?そうではありません。聖書に書かれているメッセージを深いところまで理解し、さらに、そこから信仰へと発展していくためには、導き手が必要です。教会では、牧師が聖書を紐解きます。聖書を読み、さらに、牧師によって導かれるとき、聖書に書かれている神様のメッセージはその人の心の中に種となって蒔かれ、育ち、信仰という実を結ぶのです。

あなたも、ぜひ聖書を読み、“聖書を読んだ人”の仲間入りをしていただきたいと思います。そして、そこから信仰へと導かれていただきたいと切に願います。

早春の冷たい風の中でも咲いていました。



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル (聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30～10:30

第二部 11:00～12:00



教会HP



礼拝動画

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく正統的なプロテスタントのキリスト教会です。
お困りの方はご相談ください。



父よ、彼らを赦したまえ

キリスト教会は今、受難節という期間を過ごしています。これは、イエス・キリストが私たちのために十字架の苦しみをお受けになったことを、深く覚える時です。

イエス様は、苦しい十字架の上から、このように言われました。「父よ、彼らをお赦しください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」(ルカの福音書23章34節)

イエス様は神様のもとからこの世に遣わされた神の子、神様と等しいお方でした。けれども、私たちと同じ人間となってこの世に來られました。私たちと同じように喜怒哀楽の感情を持ち、食べ物があれば空腹を覚え、飲む物がなければのども渴き、打たれば痛みも感じるお方だったのです。

ですから、「父よ、彼らをお赦しください…」と祈られたのは、釘付けにされた両手・両足の激痛と、ジリジリ照りつける太陽の熱によって起こされる激しいのどの渴きという、耐えがたい苦痛の中からだったのです。イエス様の苦しみは、とても言葉では表現できません。

いったい、なぜ罪のないイエス様が、そのような苦しみを味わわなければならなかったのでしょうか。私たちの罪のためです。罪深い私たちが、罪を赦されて、心がきよくされた者となるためには、罪なき神の子が十字架で血を流さなければならなかったのです。

「彼らを赦し給え」という「彼ら」とは、だれのことでしょうか。ご自分を釘付けにしたローマ兵のことでしょうか。ご自分に死刑判決を下したユダヤ人たちのことでしょうか。そうです。しかし、それだけではありません。今の私たちのことであり、そしてこの記事を読んでくださっているあなたのことです。イエス様は、私のため、あなたのために、神様に罪の赦しを求めてくださったのです。

イエス様のこの祈りがありましたから、私たちは、そのままで全ての罪が赦され、救われるのです。条件はありません。あるとすればただ一つ、罪を悔い改めて、イエス様の十字架は自分のためだったと信じることだけです。決して難しいことではありません。ぜひあなたも、イエス様の救いを受け取ってください。



「アセビ — 馬酔木 — 」

三月 温かい日が 多くなってきた
風の強い日は 肩をすぼめて 歩いていたのに
今は 背を伸ばして 頬の筋肉をゆるめている

年齢と共に 縮こまった体と気持ちを ときほぐして
行く春を 満喫したいと思っている

春を呼ぶアセビの花が その枝先に房になって 咲いている
小さな 壺のような形の花である
風が吹くと ゆらゆら ゆれて りんりんと 鈴の音が
聞こえてきそうな花だ

一年中 緑が艶やかな アセビの木は
その姿も整っていて 美しいと思う

日本原産であり 各地で 見ることができるが
この木は 葉にも花にも 毒があるのだ
馬が食べて ふらふらと 酔ったようになるというて
馬酔木あせびというそうだ
今 この木から 殺虫剤が作られているということだ
古く万葉集にも出てくる 馬酔木
多くの人に親しまれ 愛された花である

春のこの時期に味わう アセビの可憐な美しさに
心なごませられた ひとときである

味わい 見よ 主の恵み深さを
いかに 幸いなことか 御もとに 身を寄せる人は

詩編34編(聖書)